

令和2年2月14日

報道関係者各位

山県市

## 「戦国・大桑城シンポジウム」を開催しました

山県市（市長 林 宏優）は、2月9日に戦国・大桑城シンポジウムを開催しました。城郭研究の第一人者である中井均氏を講師に招き「谷にある城のあり方」と題して基調講演を行いました。また、子ども学芸員の委嘱、専門家による報告やパネルディスカッションも行いました。会場は一般申込者 350 人と教職員などの学校関係者を含め 500 人が参加し、大盛況のうちに終了しました。

中井均氏（滋賀県立大学教授）の基調講演では、大桑城の特徴である「谷筋に配置された石垣を持つ曲輪群」が、観音寺城や虚空蔵山城と類似していることから、以前寺院があった可能性があることに言及されました。また、新谷和之氏（近畿大学特任講師）は近江からの視点で、石川美咲氏（福井県一乗谷朝倉氏遺跡資料館学芸員）は越前からの視点で、西村覺良氏（山県市文化財審議会委員長）は地元からの視点で、それぞれ「大桑城」に関わる報告をされました。他にも子ども学芸員の委嘱と歴史の発表、「大桑城の魅力発信とまちづくり」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、参加者はメモをとりながら熱心に聞いていました。

名 称	明智光秀ゆかりの地 岐阜県山県市「戦国・大桑城シンポジウム」
場 所	美山中央公民館 住所：岐阜県山県市岩佐 1 1 7 7 番地 1
日 時	令和2年2月9日（日） 開場／12時30分 開会／13時～16時30分
内 容	13:00～ 開会 13:10～ 歴史発表会（市内小学生代表） 神谷 涼太（かみや りょうた）さん／富岡小学校 細川 新奈（ほそかわ にいな）さん／桜尾小学校 山県市子ども学芸員委嘱 13:30～ 基調講演「谷にある城のあり方」 中井 均（なかい ひとし）氏（滋賀県立大学教授） 14:30～ 報告

	<p>「近江から見た大桑城」 新谷 和之（しんや かずゆき）氏（近畿大学特任講師）</p> <p>「越前から見た大桑城」 石川 美咲（いしかわ みさき）氏 （福井県一乗谷朝倉氏遺跡資料館学芸員）</p> <p>「光秀ゆかりの地山県市と大桑城」 西村 覺良（にしむら かくりょう）氏 （山県市文化財審議会委員長）</p> <p>15:45～ パネルディスカッション 「大桑城の魅力発信とまちづくり」 コーディネーター：内堀 信雄（うちぼり のぶお）氏 （岐阜市教育委員会） パネリスト：中井 均氏、新谷 和之氏、石川 美咲氏、西村 覺良氏</p>
参加者	500人（一般申込：350人、教職員等学校関係者：150人）

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市教育委員会生涯学習課 矢島・服部

Tel：0581-22-6845 Fax：0581-22-6851

Mail：shogai@city.gifu-yamagata.lg.jp